

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公開番号】特開2003-191464(P2003-191464A)

【公開日】平成15年7月8日(2003.7.8)

【出願番号】特願2002-312212(P2002-312212)

【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 2/01

B 4 1 J 2/21

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月26日(2005.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】印刷ヘッド(10)を制御するための方法であつて、前記印刷ヘッド(10)が異なる色を印刷するためのマーキング要素(11)の第一アレー(62)及びマーキング要素(11)の第二アレー(72)を少なくとも含み、マーキング要素(11)の各アレー(62, 72)が1組の等間隔のマーキング要素(11)を含む方法において、前記方法が、第二アレー(72)の第一活性マーキング要素をマーキング要素(11)の第一アレー(62)の第一活性マーキング要素から縦軸(50)の方向に離間するためにマーキング要素(11)の第二アレー(72)の特定の要素の操作を阻止する工程を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】前記阻止工程が、マーキング要素(11)の第一アレー(62)の第一活性マーキング要素がマーキング要素(11)の一つのアレーの長さの少なくともn/Pの距離にわたってマーキング要素(11)の第二アレー(72)の第一活性マーキング要素から縦軸(50)の方向に離間するように適合され、前記nが1より大きい整数であり、前記Pが像を印刷する時に使用される相互割込印刷工程の数である請求項1に記載の方法。

【請求項3】前記阻止工程が、マーキング要素(11)の第一アレー(62)の第一活性マーキング要素がマーキング要素の一つのアレーの長さの少なくともn/Iの距離にわたってマーキング要素(11)の第二アレー(72)の第一活性マーキング要素から縦軸(50)の方向に離間するように適合され、前記nが1より大きい整数であり、前記Iが像を印刷する時に使用される飛越し走査工程の数である請求項1に記載の方法。

【請求項4】印刷ヘッド(10)を制御するための制御ユニットであつて、前記印刷ヘッド(10)が異なる色を印刷するためのマーキング要素(11)の第一アレー(62)及びマーキング要素(11)の第二アレー(72)を少なくとも含み、マーキング要素(11)の各アレーが1組の等間隔のマーキング要素を含む制御ユニットにおいて、前記制御ユニットが、使用されない特定の第二アレー(72)マーキング要素の操作を阻止するための手段を含み、それにより第二アレー(72)の第一活性マーキング要素が第一アレー(62)の第一活性マーキング要素から縦軸(50)の方向に離間されることを特徴とする制御ユニット。